

センサーはどこについていますか？

センサーは付いていません。本製品は「降車時確認式」(押しボタン式)で、運転手さんが運転を終えた後、車内の安全を確認してから、車内後部にある確認ボタンを押す方式です。操作方法是製品ページのトップに配置してある[ヒロックボタン操作方法](#)の動画(2分程度)でご確認ください。

取り付け時間はどのくらいですか？

1台あたり120分前後です。

導入後の追加費用は発生しますか？

費用はわずかです。車検の際に、本体内蔵のボタン電池(CR2032)を交換してください。

車内警報機はどのような音ですか？

ピーという断続的な電子音です。[ヒロックボタン操作方法の動画](#)内で確認できます。車載器やカーナビ等と同程度の音量です。

車外警報機はどのような音ですか？

車の防犯用セキュリティアラートに似た電子音です。[ヒロックボタン操作方法の動画](#)内でも確認できます。音量は100dbで、車から50m離れても聞こえます。

製品の構成はどのようなものですか？

車内の後方に取り付ける黒い筒状の本体(約15 x 3.5 x 3 cm)と、車外警報機(サイレン)の2パーツです。本体に、車内警報機とボタンが備わっています。車内の部品は本体1つだけで、運転席周りには何もありません。配線の露出も最小限なので、いたずらされる可能性が低いです。車外警報機はボンネット内に取り付けるので、ふだん目にすることはありません。[ヒロックボタン操作方法の動画](#)もご参照ください。

購入相談から導入までの流れは？

- ① 装置を設置する車種(車名)と台数、設置作業をする場所のご住所、ご担当者名、ご連絡先を製品ページの[購入相談](#)からお知らせください。また設置方法について、以下の設置方法A(③)、設置方法B(④)のどちらをご希望かお知らせください。折り返し、お見積書兼注文書をお送りします。ご相談、ご質問はお電話でも承っております。
- ② ご注文の際、注文書と同時に、設置するお車の車検証のコピーをeメール添付かFAXでご提出ください。折り返し、請求書を発行いたします。
- ③ **設置方法 A**：お近くの自動車整備工場等で設置ご希望の場合
お近くの自動車整備工場などに直接ご相談ください。製品代金のご入金を確認後、ご指定の事業者様宛に、取付(設置)説明書と製品をお送りします。設置料金は、事業者様にお支払いください。
- ④ **設置方法 B**：弊社が提携している自動車整備工場で設置ご希望の場合
弊社の提携事業者をご紹介します。製品代金と設置料金の合計金額を弊社にお支払いください。
(なお整備士さんが貴施設に伺って施工する出張取付となります。設置費用の目安は、税別5万円です。事前にお見積りします。)

購入から設置まで何日くらいかかりますか？

ご入金後確認後から最短で2日後、2週間程度です。設置にかかる時間が短いので、11:00~13:00の間、など隙間時間のご活用も可能です。詳しい日時は、担当の整備士さんと直接ご相談していただくことになります。

支払方法は？

銀行振込による先払いでお受けしております。

車内警報音を鳴らさない事はできますか？

できません。装置が起動すれば、車内警報音が必ず鳴る仕様です。ただし、音を鳴らせたくない場面で、音を一時的に停止できます。また装置の起動まで、30秒間の猶予時間がありますので、短時間の操作であれば装置は鳴りません。(詳しくはヒロックボタン操作方法の動画、または[カタログ](#)をご参照ください)

製品の現物を見たいのですが？

東京、神奈川、千葉、埼玉エリアまで、装置を取り付けたデモカーで、貴施設までお伺いします(無料)。

東京から遠方の施設様には、Zoomなどを利用して、リモートでのデモンストレーションも承っております。

製品ページの「[お問合せ](#)」欄から、お気軽にご連絡ください。

ガイドライン認定品とはなんですか？

安全装置の品質を担保するために、国土交通省が定めたガイドラインに適合した製品であることを、公益財団法人日本自動車輸送技術協会(JATA)が確認した製品です。これらの製品は[子ども家庭庁の安全装置のリスト](#)に認定番号と共に掲載されています。

ガイドライン認定品を設置する必要は？

政府は安全装置の設置義務化の対象である施設に対し、ガイドラインに適合した製品の設置を求めています。適合が確認された製品はリストに掲載されているものだけです。義務化されていない施設様においても、ガイドライン認定品の設置をお勧めします。

製品の保証期間は？

製品を取り付けた日から1年間です。良品と交換対応させていただきます。装置を設置した際に、設置業者の方と一緒に、同意書を2通ご記入いただき、1通を保管してください。同意書に設置した日を記載する欄があり、この記載がないと保証を受けられないことがあります。

取付後、取付説明書は捨てても良いですか？

バッテリー交換の時など、自動車整備士の方が参照できるよう、取扱説明書と一緒に、車検証を入れるグローブボックスなどに入れておくことをお勧めします。

お手元がない場合、[こちら](#)からダウンロードできます。

トラブルシューティングの方法は？

取扱説明書をご覧ください。お手元がない場合、[こちら](#)からダウンロードできます。

乗り換え時、新車に装置を付けかえる事は可能？

お近くの自動車整備工場にご相談ください。本体の取り付け方によって、ハーネスを再利用できない場合があります。その場合、ハーネスだけ販売いたしますので、弊社までお問合せ下さい。またハーネスを交換する場合、事前にご一報の上、弊社宛に本体をご送付ください。ハーネスの端子を本体に固定する結束バンドを交換の上、返送いたします。お手数をおかけしますが、よろしくお願い致します。